テーマ「そら」

品川区立

伊藤保育園

対象年齢

５歳児

＜設定理由＞５歳児が天気に興味をもつ姿が見られている。もっとも身近でありながら都会で過ごす子どもたちや大人にとって、じっくり見上げることの少ない「そら」をテーマにして、心を解放し想像力を高めたり、自然事象に対する興味・関心を深めたりする。

子どもたちから見えた「そら」

活動①「そらについてかんがえてみよう！！」

＜ねらい＞

「そら」について話しを聞き、体験することで、興味・関心を深める

＜用意した環境＞

① 外部講師（気象予報士）に園にきてもらう

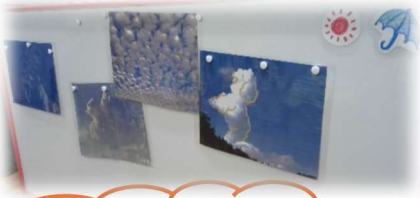
② 気象科学館に行く

＜活動内容＞

① 天気について話しを聞いたり、「空」を描いてみたりする

② 気象館の体験コーナーで遊びながら、天気について学ぶ

太陽が沈んでいる
ところを描いてみたよ



雨が降りそう
な雲だね

宇宙から見た
空は、地球が
見えるんだね

＜子どもたちの様子＞

・雲にも様々な名称があり、雲で天気がわかる時があることを知ると、より興味をもって雲を見るようになった

・天気の種類もたくさんあることに気付き、空をよく観察しながら当番活動（天気シールを貼る）を取り組むようになった

＜保育者の振り返りと気づき＞

天気や空にさまざまな種類があることに気付くことで、空をよく観察したり、図書館で空に関する本を進んで選ぶようになったりと、空への興味・関心が深まった

活動②「キッズカメラ・書画カメラで遊んでみよう！！」

＜ねらい＞

- 空や雲に興味をもって、カメラで撮影することを楽しむ
- 自分で撮影した空にイメージをふくらませながら絵を描く
- 書画カメラに映して友達に見てもらうことを楽しむ

＜用意した環境＞

① キッズカメラを用意する
② キッズカメラで撮影したものを印刷する
　書画カメラを用意する

＜活動内容＞

- 空や雲を観察しながら、キッズカメラで撮影する
- 空や雲の形を自分のイメージにあわせて絵を描くことを楽しむ
- 書画カメラに映して、自分の作品を保育者や友達に見せる

こんな形の雲があったんだ！おもしろいね！

ここから撮るといい感じに撮れそう！

＜子どもたちの様子＞

・空の色や雲の形にさまざまな色や形があり、天気で変動していくことに気付き、戸外に出るたびに空や雲を観察し、「～みたい」「～に見える」等、別のものに見立ててイメージをふくらませている姿が増えた

・キッズカメラで撮影する楽しさを知り、撮影する位置や角度を変えたりしながら取り組んでいた

・撮影したデーターを友達と見せ合い、「ここでこうするとこういうのが撮れるよ」等と教え合っていた

＜保育者の振り返りと気づき＞

・空や雲をじっくりと観察することで、頭の中でイメージしていたことと実物との違いや新たな発見に気付く機会となりよかった

・空の色や雲の形の変化に天気が関係していることに気付いた子どもがいて、気象科学館で学んだことを実際に目で見て体験することができ、更に学びにつながった

事例③「空を見上げて何に見えるかな？空でお絵かき」

＜ねらい＞
自分のイメージしたものを、空に合わせて描いたり見たりすることを楽しむ

＜用意した環境＞
絵を描ける透明シート、油性ペン

＜活動内容＞
空を観察して雲や空の形が何に見えるかイメージをふくらませながら絵を描く

何かいてるの？太陽か！
私もかいてみよう！

絵が映ったよ！
みてみて！影がカラフルになっている！

＜子どもの様子＞

・空や雲をじっくりと観察し、描きたいもののイメージをふくらませながら探していた

・描いた絵を友達や保育者に見せることで、楽しさや嬉しさを共有したり発見を褒めたり認められたりすることを喜んでいた

＜保育者の振り返りと気付き＞

・雲や空の形が何に見えるか、子どもの発想やイメージはおもしろく、無限に広がっていると感じた

・地面に映した影に色がついていることを発見し、どうして色がついたのか、自分なりの考えを友達と伝えあっていたが、天気や空に関する知識がひろがったからこそできたことだと感じた